7WHRCBYN000-01

■安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 危 険

高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合重大事故（感電死）を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意願います。

気象条件により、空気中に電気を帯びている場合があります。ピリピリと電気を感じるのはその為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。

感電注意

電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。

落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくとも、釣竿から電気を感じるようなときも同様に、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。

釣り場以外の電線による感電 釣り以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。

⚠ 警 告

キャスティング（投げる）時の注意 キャスティング（投げる）の時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。

⚠ 注 意

固着のゆるめ方 釣竿の固着（継ぎ部が食い込んで外れない時）は、継目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押して（振出竿の場合）、継目をゆるめてください。その際、一気に力を入れると釣竿の継目に手をはさみ、けがをするおそれがあります。

- ●竿の構造上、固着を完全に防止することはできません。固着をゆるめる時等、強く竿を握ると竿が潰れて破損し、手等に怪我をする場合がありますのでご注意ください。
- ●固着をゆるめる時等、ガイド部分を握って節の抜き差しはしないでください。ガイドの変形や糸止部の破損の原因になり、手等に怪我をする場合がありますのでおやめください。

根掛かりの外し方 根掛かり（水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはずれない状態）した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んできて、けがをするおそれがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。

破損時の取り扱い方 使用中、万一釣竿が破損（折れ、割れ、欠け、剥離）した場合、破損した箇所で手などけがをするおそれがあります。

子供の手の届く所に置かないでください 誤使用による事故や怪我に繋がる恐れがあります。

釣竿を釣り以外の目的に使用しないでください 事故や怪我につながる恐れがあります。

竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります 折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがありますのでご注意ください。

安全に釣りをして頂くために 万一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがあります。釣りをする際には、安全のためサングラス（偏光グラス）、帽子の着用をお勧めします。

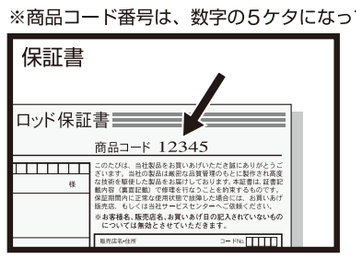
修理部品に関するお願い

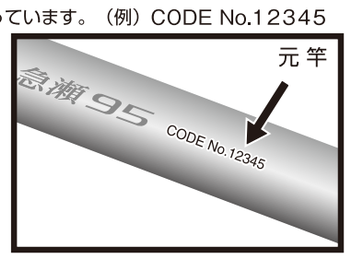
パーツを注文される際には、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。

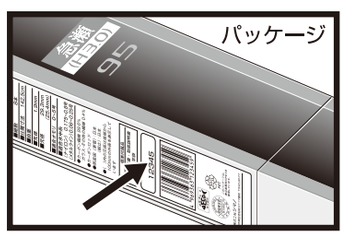
弊社では修理部品を商品コード番号によって分類しています。
穂先交換などご自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。
商品コード番号は、保証書、本体元竿、パッケージのラベル等に記載されています。
商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。

●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。
修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

※商品コード番号は、数字の5ケタになっています。（例）CODE No.12345







SHIMANO

SURF LEADER

サーフリーダー 取扱説明書

[Kガイド搭載振出投竿]

このたびは、シマノのロッドをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。
いかに軽くて丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、
竿を傷めてしまいます。
釣り人にとって、竿は大切な体の一部。
この説明書をお読みの上末永く、
ご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

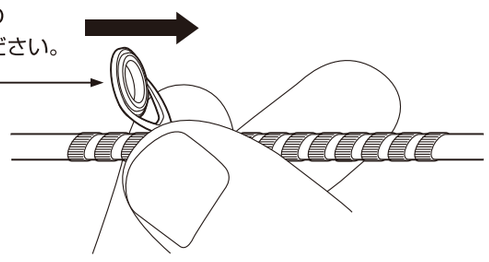
新世代先調子 マイルドチューン ― サーフリーダー

トータルガイドホールドシステム

遊動ガイドの回転を止め、ロッドの調子、曲がりを損ないません。
振出仕様のトラブルを防ぐために、システム的に機能を追求しました。

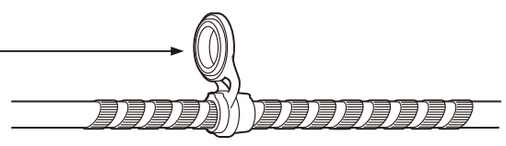
1 ガイドラインに沿って図のようにガイドの根元のプラスティック部を持ってまっすぐ押し込んでください。

- **●ガイドのリング部分は持たないでください。（変形する恐れがあります。）**
- **●固定力が弱いとキャスト時にガイドが動いてしまいガイドや竿を破損する可能性があります。**



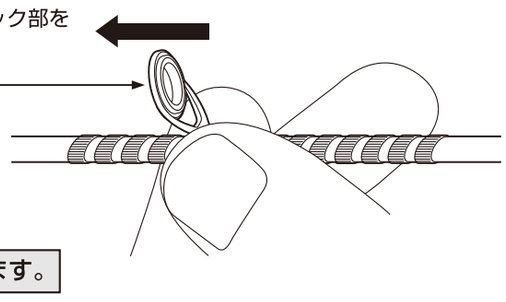
2 ローレットがかみ合い、抵抗がかかった所でしっかり固定してください。

- **●この時ガイドを無理に回さないでください。無理に回すとガイドのプラスティック部や竿が破損する可能性があります。**



3 ガイドをはずす時は、ガイドの根元のプラスティック部を指でまっすぐ逆方向に押してください。

- **●ガイドのリング部分は持たないでください。（変形する恐れがあります。）**
- **●叩きつけてガイドを外したり、竿を仕舞ったりしないでください。ガイド、竿が破損する可能性があります。**



本文中の絵は実際の製品と違う場合があります。

●ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がりを100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりがないので従来のグラスロッドに比べ曲がりがどうしても目立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

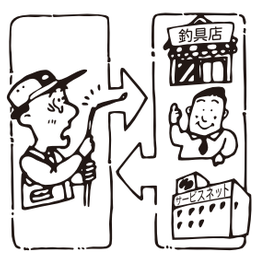
●改造後の責任は負いかねます。

改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万一の故障は全国のサービスネットへ

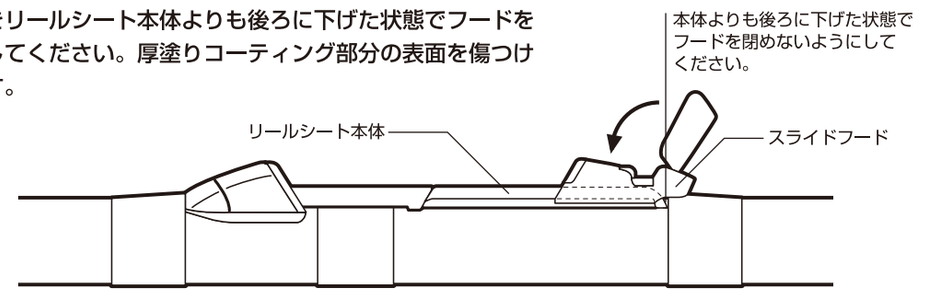
お買い上げの販売店又は、お近くのシマノサービスネットへご連絡ください。その際、保証書付きの商品は保証書を添えてください。保証期間中の故障は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。保証期間経過後の修理、又は保証書無しの商品は、有料修理とさせていただきます。

※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。
性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。



■リールシートの取扱いについて

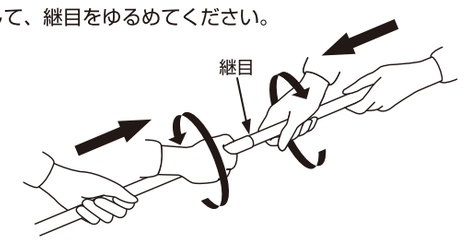
スライドフードをリールシート本体よりも後ろに下げた状態でフードを閉めないようにしてください。厚塗りコーティング部分の表面を傷つける恐れがあります。



■継目の固着について

継目がとれにくくなった場合

図のように2人で向き合い、継目に近いところをしっかりと握ります。お互いに、逆方向にゆっくりとネジリながら押して、継目をゆるめてください。



その際、ガイドは決して持たないでください。（ガイド部分破損の恐れがあります。）

いわゆる固着は、水が付着した時や投げの力や魚の強い引きなどで多かれ少なかれ起きます。力まかせに、無理やり外そうとすれば、竿を傷めてしまいます。左記のような要領で行なってください。　それでも無理なときは、シマノサービスネットにご相談ください。

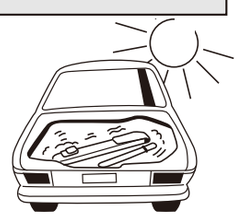
■ご使用後のお手入れ

釣行後のお手入れもお忘れなく

水洗いをして、汚れや塩分をきれいに落としたあと、水気をふきとります。このあと、風通しのよい場所で、日陰干しをして、水気を完全にとってください。
ロッド部はシリコンクロスなどでからぶき。ガイドやリールシートは防錆スプレーを。こうしておけば、塗装部の水ぶくれ（ブリスタ）や、金属部のサビなどをシャットアウトできます。

車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。

高温、密閉状態での長期間放置は、ロッドの大敵。釣行後は、上記の要領で手入れのあと、風通しの良い場所にしまってください。



タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。

ロッドの汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとってください。
注）市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。
ロッドによっては塗装及び時にはロッドまで傷める原因になります。

竿の表面を布等で強くこすりますと、塗装の種類によっては色落ちが発生する場合がございます。 ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。
また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。

安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 危険

⚠ 高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合重大事故（感電死）を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意願います。

気象条件により、空気中に電気を帯びている場合があります。ビリビリと電気を感じるのはその為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。

感電注意

電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時は竿をたたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。

落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくとも、釣竿から電気を感じるようなときも同様に、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。

釣り場以外の電線による感電 釣り以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。

⚠ 警告

⚠ **キャスティング（投げる）時の注意** キャスティング（投げる）の時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。

⚠ 注意

⚠ **固着のゆるめ方** 釣竿の固着（継ぎ部が食い込んで外れない時）は、継目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押して（振出竿の場合）、継目をゆるめてください。その際、一気に力を入れると釣竿の継目に手をはさみ、けがをするおそれがあります。

- ●竿の構造上、固着を完全に防止することはできません。固着をゆるめる時等、強く竿を握ると竿が潰れて破損し、手等に怪我をする場合がありますのでご注意ください。
- ●固着をゆるめる時等、ガイド部分を握って節の抜き差しはしないでください。ガイドの変形や糸止部の破損の原因になり、手等に怪我をする場合がありますのでおやめください。

根掛かりの外し方 根掛かり（水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはずれない状態）した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んできて、けがをするおそれがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。

破損時の取り扱い方 使用中、万一釣竿が破損（折れ、割れ、欠け、剥離）した場合、破損した箇所で手などけがをするおそれがあります。

子供の手の届く所に置かないでください 誤使用による事故や怪我に繋がる恐れがあります。

釣竿を釣り以外の目的に使用しないでください 事故や怪我につながる恐れがあります。

竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります 折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがありますのでご注意ください。

安全に釣りをして頂くために 万一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をする恐れがあります。釣りをする際には、安全のためサングラス（偏光グラス）、帽子の着用をお勧めします。

※本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シンボルシールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようにお願いします。尚、印刷されている機種もあります。

7WHR0000000-07

SHIMANO FISHING ROD

フィッシングロッドを末永くお使いいただくために

フィッシングロッド
取扱説明書

このたびは、シマノフィッシングロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
いかに軽くて丈夫なロッドでも、乱暴な取り扱いでは、竿を傷めてしまいます。
釣り人にとって、竿は大切な体の一部。この説明書をお読みの上末永く、
ご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

SHIMANO

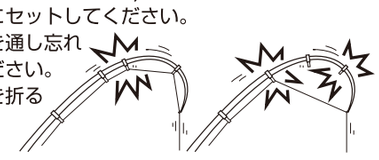
フィッシングロッド取扱い上の注意

使用上のご注意

ガイド付き振出し竿の場合‥‥

●トップカバーをはずす時は、真上に引き抜くようにはずしてください。無理にひねったり、こじったりすると穂先を折ることがあります。

●移動ガイドは、確実にセットしてください。また、ガイドに道糸を通し忘れないよう注意してください。それらが原因で穂先を折ることがあります。



●糸ガラミしたままで道糸を巻き込まないでください。竿の一部に無理な力がかかり折れることがあります。

ガイド付き並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合‥‥

●竿を継いで伸ばす際、前後のガイドのセンター合わせをすると同時に継ぎ部の合わせをしっかりと行ってください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。

●フルキャストを繰り返す場合、定期的にロッド継ぎ部の合わせ具合をご確認ください。合わせが緩いと、キャスト時に合わせが抜ける恐れがあります。

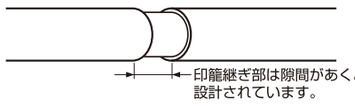
●竿を継いで伸ばしたり、あるいは仕舞う際に、ガイド部を持って捻じったりしないでください。ガイドの破損、ガイドの変形、厚塗り部の割れや剥離、糸巻きが破損する恐れがあります。

ロッドホルダー、ロッドクランプを取り付ける場合‥‥

かかり竿・船竿については、金属製ロッドホルダー及び金属製ロッドクランプの使用時において強い締付を行ないますと、締付部（素材等）の破損が生じる恐れがあります。
この様な破損による損害について当社としては補償しかねますのであらかじめ御了承ください。

スピゴットフェルール（印籠継ぎ）の場合‥‥

スピゴットフェルール（印籠継ぎ）部は隙間があくように設計されています。これは季節や環境の変化による合わせ部の膨張、収縮と磨耗に対応するためのものです。充分強度を持たせており使用上の問題はありませんので安心してお使いください。
無理矢理差し込んだりすると口割れをおこしたり、ぬけなくなる恐れがありますので、必要以上に差し込まないでください。



ズームロッド操作時のご注意‥‥

グリップ部とズーム部には段差があります。ここを握って急激にズームインすると、手を挟む場合がありますのでご注意ください。

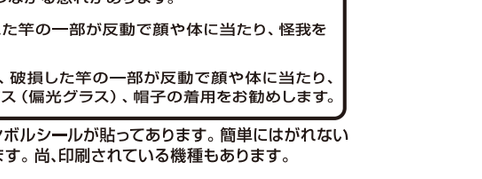
ガイドなし竿の場合‥‥

●上栓をはずす時は、真上に引き抜くようにはずしてください。無理にひねったり、こじったりすると玉口部分を傷つけることがあります。

●糸ガラミしたままで使用しないでください。また、取り込みの時などは、無理によせたり垂直方向への引き抜きは、やめてください。竿の一部に無理な力がかかり破損の原因になります。

穂先、＃2、＃3 玉口折れにご注意‥‥

●竿を仕舞うときは、手元から順次納めてください。穂先、2番、3番など細い部分を納める時は、元竿を脇にはさみ、継ぎ部のすぐ上とすぐ下を持って、ひねりながらねじ込むように納めてください。



この時、仕舞う節の継ぎ部付近をそれより太い節の玉口内側に当たらないように注意してください。玉口の端で細い節を傷める恐れがあります。仕舞う時に傷めると、次回釣行時に荷重がかかった際に破損する恐れがあります。

●竿尻を何かにあてがって押し込む場合は、何か柔らかい物の上に竿尻をあてがい、手元から順に一本ずつ納めてください。この時竿尻を水の中につけないようにしてください。

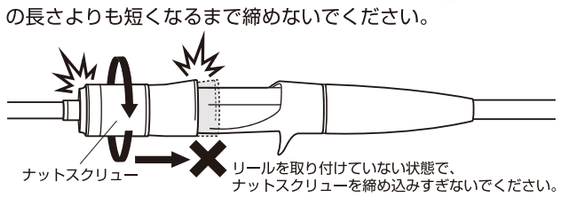
●仕舞寸法の長い竿を脇にはさんで伸ばしたり、仕舞ったりするときは、通常の竿よりも脇を中心とした回転方向の力が、かかりやすいので＃2、＃3の玉口を折らないようご注意ください。

ソリッド穂先に関するご注意‥‥

穂先に用いられるソリッド材料は、カーボン或いはグラス繊維が一方向のため、トップガイドなどを持って捻ると破損の恐れがあります。ガイドを持って捻らないでください。

リールシートに関するご注意‥‥

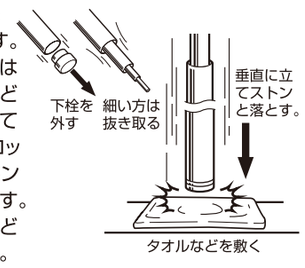
リールを取り付けていない状態で、ナットスクリューを締め込みすぎると破損する恐れがあります。フードの位置がリール脚の長さよりも短くなるまで締めないでください。



継ぎ目がとれにくくなった場合

ガイドなし振出し竿の場合‥‥

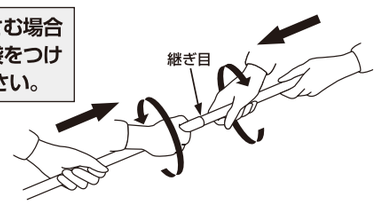
固着したところより細い（穂先方向）部分を、まず抜き取ります。元竿の中に仕舞い込んだロッドはそのままにして、板面等それほど硬くない水平な面に垂直に立てて持ちます。元竿や仕舞い込んだロッドを誘導管にして、ストン、ストンと落とせば意外に簡単に外れます。このとき、タオルや段ボールなどを敷いておけば、より安心です。



ガイド付き振出し竿の場合‥‥

並継ぎ竿と同じ要領です。お互いに逆方向にネジリながら、ゆっくりと押し込みあいます。

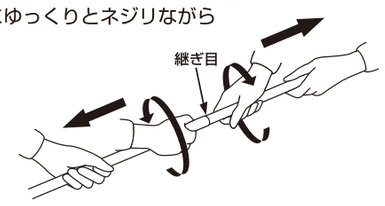
この時、竿に手をはさむ場合がありますので、手袋をつける等してご注意ください。



※ガイドを外して、ガイドなしの要領で行う方法もありますが、ガイドを外すときの熱の加え方が難しく、おすすめできません。

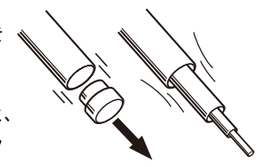
並継ぎ・印籠継ぎ竿の場合‥‥

スベリ止めのゴムシートや輪ゴムを当てて、図のように２人で向きあい、継ぎ目に近いところをしっかりと握ります。
お互いに、逆方向にゆっくりとネジリながら引き抜きます。



継ぎ目に砂が入った場合‥‥

振出し竿は、元竿の下栓を外し、一本一本抜き出して、竿の内側をていねいに手入れしてください。
ガイド付きの竿は、下栓を外し、よく水洗いをして砂を流したあと、風通しの良い場所に日陰干しをしてください。



いわゆる固着は、水が付着した時や投げの力や魚の強い引きなどで多かれ少なかれ起きます。力まかせに、無理やり外そうとすれば、竿を傷めてしまいます。上記のような要領で行ってください。それでも無理なときは、シマノサービスネットにご相談ください。

その他のご注意

●竿が曲がる際に、糸巻き部の厚塗りが竿の曲がりに追従できず、ひびが入ることがありますが、ガイドやリールシートの固定力には問題ありません。現在の生産技術上、ひび割れを防ぐことはできない状態です。あらかじめご了承ください。

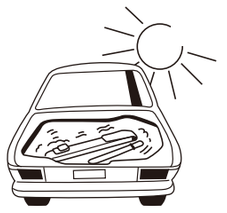
●竿は一本一本、手作業で仕上げられています。そのため、商品により色調や質感に若干の差が生じる場合がありますがご了承願いします。

釣行後のお手入れもお忘れなく

水洗いをして、汚れや塩分をきれいに落としたあと、水気をふきとります。このあと、風通しの良い場所で、日陰干しをして、水気を完全にとってください。ロッド部はシリコンクロスなどで空ぶき。ガイドやリールシートは防錆スプレーを。こうしておけば、塗装部の水ぶくれ（ブリスタ）や、金属部のサビなどをシャットアウトできます。

車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。

高温、密閉状態での長期間放置は、ロッドの大敵。釣行後は、上記の要領で手入れのあと、風通しの良い場所にしまってください。



タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。

ロッドの汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとってください。
注）市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。ロッドによっては塗装及び時にはロッドまで傷める原因になります。

竿の表面を布等で強くこすりますと、塗装の種類によっては色落ちが発生する場合がございます。ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。

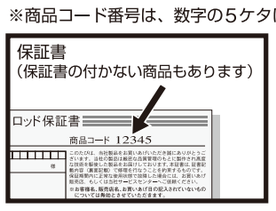
修理部品に関するお願い

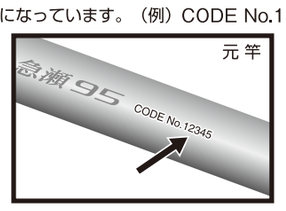
パーツを注文される際には、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。

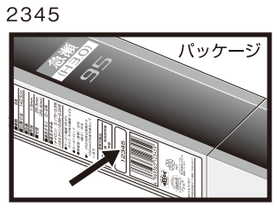
弊社では修理部品を商品コード番号によって分類しています。
穂先交換などご自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号は、
保証書（保証書の付かない商品もあります）、本体元竿、パッケージのラベル、タグ等に記載されています。
商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。

●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。
修理対応期間につきましてはシマノ全国サービスネットにお問い合わせください。

※商品コード番号は、数字の5ケタになっています。（例）CODE No.12345







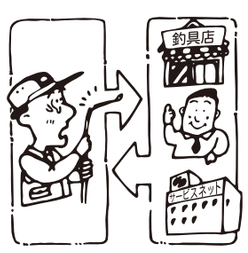
●ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がりを100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりがないので従来のグラスロッドに比べ曲がりがどうしても目立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

●改造後の責任は負いかねます。

改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万一の故障は全国のサービスネットへ

お買い上げの販売店又は、お近くのシマノサービスネットへご連絡ください。その際、保証書付きの商品は保証書を添えてください。保証期間中の故障は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。保証期間経過後の修理、又は保証書無しの商品は、有料修理とさせていただきます。

※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。
性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。